楽しい学校生活は正しい生活リズムから

大仙市立北神小学校　平成22年度 学校報　№21　2010/11/11　発行

風の道

〒019-1702 大仙市北楢岡字嶋151　文責：山崎　敏

【在籍70名】
①8 ②9 ③12
④11 ⑤10 ⑥20

マスコットキャラクター「ほーくん」

社会科研究会が終わりました

１０月２９日、本校を会場に、大曲仙北社会科教育研究会秋季研究大会が開催されました。

当日は、４年生・６年生の授業を公開し、本校社会科の取り組みについて協議が行われ、参会の先生方からたくさんのご指導をいただきました。今後の授業改善に生かしてまいりたいと思います。

4年
松倉堰を知る旅にでかけよう

6年
長く続いた戦争と人々のくらし

多くの先生方に緊張気味の子供たち

ノーチャイム順調です

今月から始めたノーチャイムでの生活が順調に進められています。

11 月１日、始業時刻の午前８時 20 分になると、どの学級でも全員そろって朝の会が始まり、上々のすべり出しとなったようでした。

また、昼休みには読書タイムの時刻を意識して時計を見ながら「１時７分になったら教室に行こう」と話しているなど「合図や指示待ちでない主体的な行動」が少しずつ見られるようになってきていて喜ばしく感じています。

バイパス開通・交通事情が激変

１１月３日、神宮寺バイパスが開通し、学区内の交通事情が激変しました。

開通翌日の４日は、秋田～大曲のメインルートがバイパスに移行したため、北楢岡の国道１３号線を通る車の数は、驚くほど減っていました。

これに伴い、北楢岡付近を通学する児童の交通事故のリスクが軽減されるだろうと思う一方で、通行量が少なくなったために、中には速度を上げて通る車もあり、これまでとは違った危険があるようです。

今後も油断することなく通学するよう指導しました。

また、八石に至る市道沖八線十字路には、まだ信号機が設置されていませんので、引き続き**児童は横断しない**ことを徹底したいと考えています。どうかご協力をお願いいたします。

何かお気づきの点がありましたらお知らせください。

【写真上】車の通っていない国道１３号(北楢岡郵便局付近 7:50ころ)
～ 通勤・通学の時間帯に、こんな北楢岡は初めてです ～
【写真下】バイパスには沢山の車が(高花付近 7:55ころ)
～ バイパスにまわった多くの車 ～

焼き物完成！2年生

９月下旬から取り組んでいた２年生の焼き物が完成しました。それぞれ世界に一つだけの「お皿」や「湯飲み」等を手にしてとてもうれしそうです。お世話いただいた田中喜一さん、本当にありがとうございました。　(11/4)

バリアフリー学習！4年生

社会福祉協議会のご協力を得て、４年生がバリアフリーに関する学習をしました。

盲導犬のお話を聞いたり、障害者の方々の生活の苦労を体験したり、貴重な学習の機会になりました。　(11/5)

食の大切さを学ぶ1・2年生

本校の重点「食育」の取り組みの一つとして、食生活改善推進委員の方々や保護者の皆さんのご協力を得て、１・２年生が食に関する学習をしました。調理も行いおいしくいただきました。　(11/10)

好成績！社会科研究発表会

第 45 回大曲仙北児童生徒社会科研究発表会で、６年の髙橋慶人さん石山凌大さんが最優秀賞を、岡凜朗さんが優秀賞を獲得しました。(11/10)
おめでとうございます。

＊ 詳報裏面

裏面もどうぞご覧ください

TEL：0187-72-2224　FAX：0187-72-4622　http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~km-hokushinsyo/　✉km-hokusyo@edu.city.daisen.akita.jp

平成22年度 **第４５回大曲仙北児童生徒社会科研究発表会** （平成22年11月10日 於:大曲小学校） から

最優秀賞　「学校の前にバイパスができる」　石山凌大・髙橋慶人

二人は、バイパス開通前から、学校前の交通量を調べていました。
これを開通後の交通量と比べたり、お家の皆さんへのアンケートと関連づけて考察したりしたものです。
学区内でリアルタイムに起きている社会変化に着目したもので、北神小だからできる・北神小でしかできない・今しかできない価値の大きい研究です。
審査員の先生方からも、図表の表し方・アンケート調査のしかた・インタビューなどについてたくさん褒めていただきました。

【発表要旨】

１．動　機　　車の数がとても多い学校前の国道１３号線の交通量は、バイパス開通後はどう変わるのか興味を持った。

２．調査方法
○ ８時・１２時・４時に、それぞれ５分間ずつ学校前の国道を通る車の数を数える。
○ アンケートをお願いしたり、インタビューしたりして、バイパス開通についての地域の皆さんの考えを聞く

３．結　果
○ 学校前の交通量（それぞれの時刻の５分間に、学校前を通った車の平均台数…単位：台）

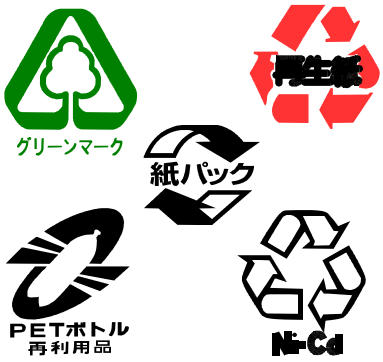
	8時		12時		4時	
	上り	下り	上り	下り	上り	下り
開通前	61.8	66.6	36.0	33.6	45.4	44.4
開通後	15.0	19.3	4.3	8.7	9.3	13.3

・開通前も開通後も、朝が最も交通量が多い。
・バイパス開通後は交通量がおよそ４分の１に減った。

○ アンケートから（バイパスはできてよかったの？…地域のみなさんはどう考えているのだろう？）
① 回答してくれたのは
小学生 … ６５人　中学生 … １１人　高校生 … ２人　父母 … ９１人　祖父母 … ４７人
② バイパスができてよかった？
よかった … １９６人　よくなかった … １６人　どちらともいえない … ４人
◇ よかった…主な理由
・北楢岡の交通量が少なくなって安全になったし、静かになった。
・今までより、横断が楽になった。
・大曲へ早く着くようになった。
・行き先によってルートが選べる。
・通勤のときに車で国道に出やすくなった。
◇ よくなかった…主な理由
・交通量が減って、さみしくなった。
・バイパスと国道の除雪がスムーズに行われるか心配。
◇ どちらでもない…主な理由
・これまでの道路を整備すればよい。税の無駄遣い。
・車の運転する側にとってはよかったかが、歩行者にとっては？

４．感　想
○ 旧国道の交通量が減ってさみしくなったという意見もあるが、静かで安全になったのでよかったと思う。
○ 国道の車の数は少なくなったけれど、これからはスピードを出す車に注意しないといけない。
○ 住んでいるところや、仕事によって、色々な感じ方や考え方があることがわかった。

この研究を進めるにあたり、ご多用のところたくさんの皆さんにアンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。６年生の児童とともに心から御礼申し上げます。
このアンケートの中の記述に「バイパスによって、北楢岡との間に壁ができた気分。」というのがありました。
今回のバイパス開通を契機に、学校は、地域の方々とのつながりをなお一層大切にしていかなければならないとの思いを強くしたところでした。

優秀賞　「身近でできるリサイクルとエコ」　岡　凛朗

この研究には、地球温暖化をふまえて、生活の中から今日的な課題を見つけ、調査研究を通して自分の生活の見直しにつなげているところがとてもよい、という講評をいただきました。
聴いていた他校の６年生からも、様々なマークについてクイズ形式で発表する方法は、とてもおもしろくて興味深かったという感想が寄せられました。